

友愛こうら

第86号 発行：甲良町老人クラブ連合会
水と緑に恵まれた、歴史豊かな、この郷土を愛し、
たがいに友情の手で結ばれた老人クラブをめざそう

前日、本部役員で必要物品等を会場・公民館二階多目的ホールに搬入。当日朝からの準備の段取りを綿密に行い備える。借用する物品や施設・機器を教育委員会に確認、お願ひをして当日起きました。

朝8時過ぎから理事さんの手際よい作業で準備はびっくりするほど早く、きれいな会場にし上りました。文化研修部や女性部の打ち合わせも整い、一時過ぎから字別で受付が始まります。



《司会進行の谷口文化研修部長》

オープニング

恒例となった甲良中学校吹奏楽部の演奏

指導の先生を含め16名の迫力ある演奏。なじみのある演歌のメドレーに酔いしれる。しつとりした合唱も交えて30分。素晴らしい中学生の活動に、会場は大拍手。

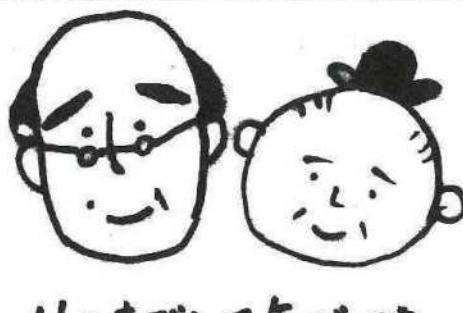


《甲良中学校吹奏楽部の演奏》

平成30年度 甲良町老人クラブ大会

期日 平成30年11月3日(土)

会場 甲良町公民館 2階 多目的ホール



主催 甲良町老人クラブ連合会 共催 甲良町教育委員会

後援 甲良町 甲良町社会福祉協議会

参加者 甲良町 老人クラブ会員

プログラム

12:30 受付

13:00 オープニングを飾る甲良中学校吹奏楽の演奏
～おなじみになった地元中学生の熱演～



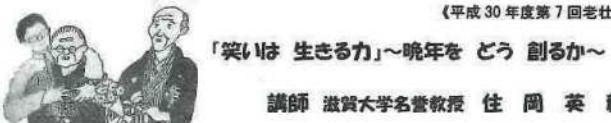
13:30 第1部 式典

開会行事～挨拶 長寿者記念品贈呈 功労者・篤行者表彰 祝辞等～

休憩

14:50 第2部 特別記念講演～高齢者のよりよいくらしをつくるために～

《平成30年度第7回老健大学講座》



「笑いは 生きる力」～晩年を どう 創るか～

講師 滋賀大学名誉教授 住岡英毅 様

16:00 第3部 閉会行事

☆みんなで 秋の歌を唄って フィナーレへ
☆挨拶



《長寿者へのお祝いのことばと各種記念品贈呈》

第一部 式典

田中副会長の力強い平成年度最後の大会開会宣言。しかし式典途中で会場設営等の不備から、一時中断するという不始末。続く会長挨拶もそのことのお詫びから始まりました。そして、県下で誇る会員加入率や活動成果を喜び、お礼と今後のさらなるクラブの活性化に向かう積極的な取り組みへの感謝の挨拶。その頃は、皆様のおかげで、毎年の温かい雰囲気の大會になっていました。

続いて、ご長寿者一二〇名の方へのお祝いとなりました。お祝のことばと記念品の贈呈で、会場においていたいた十名の方に会長がお席まで行き、お祝いしました。これからもますます健康でご長寿を。



《被表彰者の皆様》

次は、会長表彰です。
まずは、本日表彰を受けられた方々をご紹介します。

☆老人クラブ育成功労者賞

神辺幸夫様(下之郷)

阪東祥久様(下之郷)
樋口訓民様(尼子)

松宮正次様(出屋敷)

☆介護篤行者賞

圓城早苗様(尼子)

会場最前列にお座りいただき、会場の皆様で称えました。

両賞とも、各字会長様からご推薦いただき、連合会でまとめ、会長賞として、感謝の念を込め、また、篤行を称え授与されました。

おめでとうございます。

第一部の締めくくりは、来賓の野瀬喜久男町長様の祝辞です。

大変ご多忙の中、ご臨席いただきました。

ご来賓の皆様からお祝辞をいただくのが本意ではあります。が、ご紹介をもって、これに代えさせていただきました。

今後とも老人クラブに対しましてお力をいりますよ

うお願い申し上げます。

老人クラブ育成功労者賞は、老人クラブの発展に寄与、貢献されたり、地域社会に対して多大な貢献をされ、高齢者の範となる活動を続けていてくださる方々に、また、介護篤行者賞は、長年にわたり家族の方への温かく手厚い介護にあたられている方々に、贈られます。

昭和の時代にこうした取り組み方はありました。すぐの老人クラブ単独の開催に戻っていました。本年度は、テーマ「高齢者のよりよい暮らしをつくるために」をテーマに、教育委員会と共に開催しました。

話と第三部アトラクションでした。が、これらを合体して、第二部を構成することとしました。そこで、昨年までは第二部講

話と第三部アトラクションでした。が、これらを合体して、第二部を構成することとしました。

内容を詳しく書いておいてください。演題の「笑い」と『生きる力』そして、高齢者のころ豊かなくらしについて語りかけてくださいました。ぜひ、冊子をもう一度お読みください。都合で参加できなかつた方は、本部事務局にお申し出ください。お渡しいたします。

また、冊子には書かれているキーワードと思われるものもあげておきます。

○人生は自分で創るもの。

○寄席に行きたい・落語が習いたいなど、やりたいと思う

事し、お稽古に通つておられました。高座名は「愚家小がん」といふそうです。落語を期待しているのですが、連絡不十分で演じていただくことができません

第一回特別記念講演

でした。が、小噺をはさみながら、七〇分しつとりとお話ししてくださいました。



○落語では、さまざまの人を演じるが、たとえば武士を演じるとき、武士になりきつていけない。しかし、武士らし

く演じなくてはいけない。

○医者は落語とか笑いに興味を持つているようだ。笑いは病気の予防になるからか…。

講話も終わり、月謝や入門について、また、落語勉強の方法についてなどの先生への質問も出されて、大変にぎわいました。

そして、興奮さめやまぬ中、甲良中学校吹奏楽部顧問の室・鈴木両先生の伴奏と指揮で、「里の秋」と『琵琶湖周航の歌』を全員で唄い、ファイナーレとなりました。

皆様のおかげで、大事業を素晴らしい心に残る大会にしていただきました。

会員皆様の今後のお力添えを併せてお願いして、大会の幕は閉じられました。

なお、昨年同様サプライズ企画としてささやかなプレゼントの抽選発表をしました。また、アンケートもお願いしました。その結果は紙面の都合で掲載できませんが、例年にならぬ厳しいもので、準備や当日運営、気配り等々に生かしていくます。貴重なご意見を、大変ありがとうございます。がたく思っています。ありがとうございました。

老人クラブ大会の大テーマは、『伸ばそう 健康寿命！ 担おう地域づくりを！』です。

県老ク連会員は、年々減少し、本年度4万五千人余りとなりました。自然現象だけではなく、脱会される方が多く、いかにそれを食い止め、会員を増強していくかは、組織の存続にも関り、重要な課題であります。

しかし、県大会は、昨年に比べ、参加者も増え、70名近くの参加で、にぎやかな会場となりました。また、本年度、本町は多くの各種表彰に輝きました。記録に残る素晴らしい大会でした。とつてもうれしいことです。受賞された方は次の通りです。おめでとうございます。

★育成功労者賞 山田金次郎様(長寺西)
★優良老人クラブ賞 横関老人クラブ天寿会様
(会長陌間徹男様)

★福祉篤行者賞 鳩路正子様(下之郷)
★永年勤続者賞 坪内千鶴子様(尼子)
★活動賞(地域文化の伝承活動・注連縄づくり) 下之郷老人クラブ寿福会様
(会長阪東猶真様)

★老人クラブ連合会会長表彰 上野善久様(下之郷)
★福祉関係功労滋賀県知事賞 ★優良老人クラブ賞
育成指導功労者賞
★優良老人クラブ賞
下之郷老人クラブ寿福会様
(会長阪東猶真様)

★育成功労者賞 樋口訓民様(尼子)
★優良老人クラブ賞
横関老人クラブ天寿会様
(会長陌間徹男様)

★介護篤行者賞 圓城早苗様(尼子)



《受賞者・団体の皆さん》

愛知・犬上老人クラブ大会
十一月十一日(月)
於・甲良町公民館

老人クラブの充実発展には、そのリーダになつてください。身近なところで交流を交えて研修の場をつくられてきました。その歴史をだいじにして、毎年開催され、本年度は本町が会場を受け持ちました。

理事様には早朝より準備、そして、女性委員様ともどもファイナーレの会場いっぱいの歌のリードをお願いしました。

この大会でも、愛知犬上老人クラブ連絡協議会長表彰があり、次の方が受賞されました。

★育成功労者賞
★優良老人クラブ賞
横関老人クラブ天寿会様
(会長陌間徹男様)



《熱演・熱弁の智泉さん》

大会の内容は、地域リーダーの養成をだいじにし、事例発表も連合会ごとに順番に回し交流しています。本年度は、愛知川老人連で、長野西の単位クラブの発表でした。ちなみに来年度は甲良町が当たります。どこかの字に発表していただきます。よろしくお願いします。

もう一つの内容は、講話です。

講話とアトラクションを一括して行うことになりました。本年度は、下之郷念称寺衆徒藤谷泉さんの『智泉のマジック&トークショウ』で皆様にお楽しみいただきました。

その中で話題になつたこ



役員交流研修会

十一月十一日(水)十六時

《県老人大会の日》

於・平成の尼子館

先進地交流研修会や研修報

告で、各字の活動や運営についてざくばらんに話し合い、交

流して学び合つて自分たちの字の老人クラブづくりに活かしていきたいという、積極的な

ご意見をいただきました。

そこで、早速県老人大会から帰町しての夕刻から、先進地交流会の反省もまじえて、開催しました。

参加者は、字の会長(理事)副会長さんや役員研修参加者です。みんなで実状を出し合い、楽にしゃべりあう会にしていきました。

このではなく、実態やいろいろな活動事例などを、みんなで気楽にしやべりあう会にしていきました。

その中で話題になつたこ

くつかを、あげておきます。

○会員の加入については、

一定の年齢になれば、入らなければならぬと思つて、ほとんどの全員が入会。しかし入会を拒否される人が出てきている

『どの字でも』役員をしなければならないので、はいらないと

いう人も。

役員は、年齢順に決まつている字もかなりある。

役員についての意識や取り組みは、いろいろである。

加入年齢なども一律に決めるとよいという考え方も出されたが、町・県や国で決めるものでもなく、各単位クラブでの実績や課題から考えていけば良いことであろう。

○退会の実態とその対策について

・超高齢者施設入所 長期入院 寝つき等々で、退会をする

——こうした方を食い止めたい。終生会員であつてほしいが、家の者が拒否することがある。

・退会すれば死亡時にも関わりは、なし。字の老人クラブの追弔法にも加わらない。寂しい感がするが、そうは感じない家族の年齢層・価値観になつていています。

○会費についての実態と対策・配慮の実状によりきめている)

・会費制度のある字もある。

また、会費の軽減・免除・還元といろいろ工夫している

字もあり、参考にしていきた

いという字が、多かつた。

○会員の葬儀へのかかわり:

弔辞や香奠について 各字まちまちである。葬儀の形態の変化で、一律にはいかない。慶弔規定で決められたよ

うにしているが、弔費が高額になり苦慮している。当家からのお礼の件もまちまちで、検討中

や検討に向かう字もある。町として一律には決められるものではない。慶弔規定で決められたよ

うにしているが、弔費が高額になり苦慮している。当家からの

お礼の件もまちまちで、検討中

や検討に向かう字もある。町として一律には決められるものではない。

その他の、字の特色ある行事、表彰者の推薦、会の名称、サロント老人クラブ等々について実態の交流や課題を出していました。

大変和やかで、発言も多く充実した『交流研修会』となりました。こうした会をもつと

生かしていきたいと考えています。遅くまでご苦労さまであります。

編集後記

平成から、さて、どんな年・年号かわかりませんが、会員の皆様といつしょに楽しみをいっぱいくりしていく老人クラブにしていきたいと思います。

本年もどうぞよろしくお願ひい